

# 筑波大学 vs 国士館大学

11月2日(土)  
11:30K.O.  
フクアリ

10月23日(水)に慶大に敗れた影響が心配された筑波大だが、27日(土)のゲームでは専大に2-0の完封勝利。内容もほぼ完ぺきだった。

「全員いいプレーができたうえ、結果も伴ったのでよかった」(中山雅雄監督)

パスから連動して動くことができていた。

「自分たちが大切にしているプレーを、全員がしっかりとやっていたのでよかった」(中山監督)

大きな課題はないが、それでも今後の戦いを考えると、決定力の部分をさらに上げていくことが必要だ。

「一生懸命やるだけ。選手たちはある程度自信を持っている。それが油断につながらないようにしたい」(中山監督)

後半戦好調の国士大だが、前節は中大相手に2点のリードを奪われた。しかし、そこで負けないのが今の国士大だ。

「前半は相手主導だった。1点を返したあとに、前へ前へという積極的なサッカーができた」(細田三二監督)

前半はセカンドボールや寄せのところで相手より一步出遅れていた。しかし、後半はその部分をしっかりと修正した。

「後半はテンポが一歩早くなつたぶん、みんなが動き出してボールも動かせたので得点につながった。テンポよく早い展開で2ゴールできた」(細田監督)

試合の中での修正力、適応力もさすがだったが、課題はまだある。攻め急ぐあまり中央からの攻撃に偏り過ぎてしまい、なかなか崩すことができなかつた。

後半戦で専大を破った好調2チームの対戦。軍配はどうちらに!?

**警告3回:**上村岬、谷口彰梧、中野嘉大、若杉拓哉(以上筑波大)

**前回の対戦:**筑波大1-2(シュート数10-9)国士大

筑波大 国士大

12. 三丸	13. 曽山	26. 佐々木	2. 石川
5. 車屋	14. 前原	10. 新村	3. 吉田
3. 谷口		20. 松本	
1. 神舎		21. 久保田	
7. 葦本		7. 橋本	
17. 西村	19. 若杉	16. 平松	4. 今瀬
18. 早川	25. 武内	14. 進藤	12. 加藤

# 慶應義塾大学 vs 順天堂大学

11月2日(土)  
13:50K.O.  
フクアリ

10月23日(水)の筑波大戦は勝利を收め、ようやく本来の力を発揮した慶大。前節の早大戦はあと一歩及ばず、1-2の敗戦となつたが、

「前半の立ち上がりはウチのペースで試合ができた」(須田芳正監督)

そのまま無失点で前半を折り返したかったが、30分にCKから失点。さらに、後半5分に直接FKから失点と、セットプレーから2点を失つた。

「このようなゲームでは、ミスしたチームが負ける」(須田監督)

後半40分に何とか一矢を報いたが、同点に追いつく力は残つていなかつた。

流経大、日体大の状況にもよるが、この試合で負ければかなり苦しい状況に追い込まれるだけに、何としても勝たなければいけないゲームだ。

最近、なかなか勝ちきれない順大。完全に残留争いに飲み込まれてしまった。ここからどう打開するのか。前節の流経大戦は、いい立ち上がりから前半に2点を決めた。しかし、後半に2失点を喫し2-2のドロー。

「勝たなければいけない内容だったと思うが、その前の早大戦のゲームは何か追いついて、今回は追いつかれ

た。この2試合でイーブンだと思う」(吉村雅文監督)  
前半の早い時間帯にゴールをと試合に臨み、思惑どおり前半に2ゴール。そこまではプランどおりだったが、「後半が……。90分戦うことがサッカーなので、それができなかつたことが反省点」(吉村監督)

せっかくいいサッカーをしてもそれが90分続かなかつたり、勝利に結びつけられないことが多いだけに、何とか勝点につなげたい。

**警告3回:**久保飛翔、松下純土(以上慶大)、宮本和輝(順大)

**前回の対戦:**慶大2-6(シュート数5-7)順大

慶大 順大

5. 増田	14. 川田	16. 吉永
22. 久保	30. 長尾	14. 長谷川
20. 端山		3. 清水
12. 福本		6. 岡崎
8. 松下		11. 原田
13. 望月	10. 武藤	1. 川口
4. 保田	2. 岩田	15. 青木
		5. 新井
		7. 和田
		13. 宮本

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25 NO.19 Division1



編集: 加茂郁実 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 筑波大が首位の専大を破る!

残り4試合と大詰めを迎えた「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。前節は下位チームが奮闘したが、その模様を振り返ってみよう。

首位を快調に走っていた専大だが、この日は筑波大に終始ベースを握られる苦しい展開。後半33分に退場者を出すと、34分に失点。さらに36分にも失点し、終わってみれば0-2の完敗を喫してしまつた。筑波大は攻撃陣に負傷者を抱えながらも、前の試合(慶大戦)の敗戦からうまく立て直した。

専大を追う2位の早大は、残留争いの渦中にいる慶大との対戦。早大は前半30分、後半5分とゴールを奪い2点をリード。40分に1点差に詰め寄られたものの、そのまま押しきつて勝利を収めた。慶大はあと一歩及ばなかった。

中大と後半戦好調の国士大。前半34分、後半3分に得点を奪つた中大が2点をリードしたが、ここで負けないのが国士大の強さだ。18分、38分に国士大も2点を奪つて同点に追いつく、驚異の粘りを見せた。

後半戦勝ち星のない日体大と調子が上がってきた明大の対戦は、日体大が1-0の勝利。久しぶりの完封に選手の表情も明るかだった。明大は後半27分に退場者を出したのが響いてしまつた。

### 得点ランキング

仲川	輝人	(専大)	12	点
長澤	和輝	(専大)	10	点
榎本	大希	(早大)	9	点
和泉	竜司	(明大)	8	点
原田	開	(順大)	8	点

### アシストランキング

橋本	拓門	(国士大)	7	アシスト
中野	嘉大	(筑波大)	5	アシスト
砂川	優太郎	(中大)	5	アシスト
仲川	輝人	(専大)	5	アシスト
原田	開	(順大)	5	アシスト

何とか調子を上げたい流経大と順大の両チームだが、順大が前半に2点をリード。しかし、後半2分に流経大が1点差に詰め寄ると、40分にはついに同点に追いついた。両者痛み分けのドローだが、順大は残留争いに巻き込まれてしまった。

桐蔭大と東洋大の対戦は、東洋大が前半23分、後半30分、36分にゴールを決めて3-0の快勝を飾つた。

まだまだ専大の優位は動かないものの、優勝争いの行方が少し面白くなつたといえる。それ以上に混沌としてきたのが残留争い。東洋大、慶大のほかに日体大、順大も厳しい状況に陥り、この4チームの戦いから目が離せない。

## JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	筑波大	国士大	中大	明大	桐蔭大	流経大	順大	日体大	東洋大	慶大	試合数	勝数	分け	負け	得点	失点
1	専大		201 11月24日 0●2	201 11月2日 0●1	201 11月9日 1●2	502 11月16日 1●1	401 11月23日 1●1	602 11月2日 1△1	2●3 11月17日 1△1	201 11月17日 1△1	1△1 11月23日 1●1	301 11月9日 1●1	601 11月17日 1●1	18	13	2	3	45	21
2	早大	1●2 味斐西	1●3	100 2△2	201 11月2日 1●2	201 11月9日 0●2	201 11月16日 0●0	300 11月23日 1△1	0●1 11月2日 1●1	1△1 11月17日 1●1	1○1 11月23日 1●1	1○1 11月9日 1●1	201 11月17日 1●1	18	10	4	4	29	24
3	筑波大	1●2 200	0●1 301	2△2	2△2 11月2日 1●2	0●2 11月16日 1△1	0●0 11月23日 1△1	300 11月23日 1△1	0●1 11月17日 1●1	1△1 11月23日 1●1	1●1 11月23日 1●1	301 11月9日 1●1	10●2 11月17日 1●1	18	8	5	5	33	23
4	国士大	1●2 100	1●2 2△2	201 フクアリ	201 11月2日 1●2	1●2 11月16日 0●1	0●1 11月23日 1●1	300 11月23日 1●1	0●1 11月17日 1●1	1△1 11月23日 1●1	0●5 11月23日 1●1	201 11月23日 1●1	2●3 11月23日 1●1	18	8	3	3	27	27
5	中大	2●5 駒陸	1●2 古河	200 1△1	200 1△1	1●2 1△1	0●0 11月23日 1●1	300 11月23日 1●1	0●0 11月23日 1●1	1△1 11月23日 1●1	2●0 11月23日 1●1	1●2 11月24日 1●1	1●2 11月24日 1●1	18	7	5	6	32	23
6	明大	1●4 1△1	1●2 江戸陸	0●0 たつのこ	201 11月23日 1●2	1●2 11月23日 0●5	0●1 11月23日 1●2	300 11月23日 1●1	0●0 11月23日 1●1	1△1 11月23日 1●1	0●0 11月23日 1●1	0●1 11月23日 1●1	2●2 11月23日 1●1	18	7	5	6	28	24
7	桐蔭大	2●6 江戸陸	1△1 たつのこ	100 1●4	100 1●4	1△1 1●4	0●5 11月23日 1●4	300 11月23日 1●1	0●1 11月23日 1●1	1△1 11月23日 1●1	1●2 11月23日 1●1	1●2 11月23日 1●1	2●2 11月23日 1●1	18	7	2	9	25	35
8	流経大	302 0●4	0●3 300	1△1 1△1	1△1 1●2	1●2 1●2	0●0 11月23日 1●2	300 11月23日 1●1	0●0 11月23日 1●1	1△1 11月23日 1●1	0●0 11月23日 1●1	1●2 11月23日 1●1	2●2 11月23日 1●1	18	5	7	6	19	26
9	順大	1●2 1●2	100 2△2	500 味斐西	1●3 古河	1●3 201	0●2 江戸陸	0●0 11月23日 1●2	0●0 11月23日 1●2	1△1 11月23日 1●1	2●2 11月23日 1●1	1●2 11月23日 1●1	602 11月23日 1●1	18	5	5	8	32	20
10	日体大	1△1 BMWス	1△1 2●3	2●3 1●3	1●3 天野	1●4 8. 天野	1●0 1. 川口	1●0 江戸陸	0●0 11月23日 1●2	1△1 11月23日 1●1	2●2 11月23日 1●1	301 11月23日 1●1	1●2 11月23日 1●1	18	5	5	8	22	28
11	東洋大	1●3 1●2	0●1 2●3	5△5 たつのこ	1●2 たつのこ	1●2 たつのこ	1●5 0●5	2●2 江戸陸	1●2 201	1●1<br									

# 専修大学 vs 中央大学

11月2日(土)  
13:50K.O.  
駒陸

首位を走る専大が筑波大に0-2で敗れ、これで後半戦2敗目を喫した。ゲーム内容も、

「失点が5、6点とならずに、2点で収まったことが幸いだ」（源平貴久監督）

「というように、危ないシーンはそれ以上に多かった。しかも、後半33分には後半途中から投入した選手が退場になるアクシデント。最後までリズムを取り戻すことができなかった。それでも2位の早大との差は7ポイント。優位は変わりなく、優勝へのカウントダウンが気になるところだが、

「まずは中大との試合にしっかりと勝たなければいけない。筑波大との試合は忘れて、1週間、準備していかない」（源平監督）

今シーズン二度目のノーゴールだったが、アグレッシブな姿勢を失わないでいきたい。

「最後に後ろが耐えきれなかつた」

試合後にガッカリと肩を落としたのは中大・白須真介監督。国士大を相手に2点のリードを奪いながら、後半に2失点で2-2のドローに終わってしまった。

「イメージどおりできた部分もある」（白須監督）

「というように、決して悪い試合内容ではなかった。そ

れだけに、どうしても勝点3が取りたかった試合だったが、チームは前を向いている。

「最後の部分での差を、もう一度ディフェンス面から修正してやっていければ、今、いい試合をしている専大を相手にも十分に戦えると思う。次に切り替えてやっていきたい」（白須監督）

自信を失わず、信念を持って戦いたい。

出場停止：中村駿介（専大）、岡崎亮平（中大）警告3回：河津良一、小口大貴、仲川輝人、前澤甲氣（以上専大）、岡崎亮平、細見諒（以上中大）

前回の対戦：専大5-2（シュート数12-9）中大

専 大	中 大
12. 小口	7. 砂川
15. 篠崎	31. 高橋
8. 下田	3. 大和田
1. 福島 6. 河津	11. 前澤
14. 星野	11. 川越
44. 中村	25. 渋谷
2. 北爪	1. シュミット
	8. 田辺
	4. 細見
10. 仲川	12. 小出
	14. 古橋
	6. 高瀬

# 日本体育大学 vs 桐蔭横浜大学

11月2日(土)  
13:50K.O.  
ゼットエー

後半戦に入ってから一度も勝てていない日体大だったが、前節の明大戦は1-0の勝利。ずっと失点が続いていたが、そのディフェンス面も完封と、ようやく日体大らしさが出た。

「これが日体大のいいところなので、今後も継続できるといふと思う。今まで簡単にやられている部分があつた。粘り強く、守備がしっかりとできていたところがよかつた」（倉又寿雄監督）

しかし、試合内容が完全によくなつたわけではない。「後半になって、自分たちがボールを保持することができない時間帯が多くなつてしまつた。相手が10人になっても、押し込まれる時間が多くなつてしまつた。もっと自分たちの時間を作りたい」（倉又監督）

まだまだ残留に向けて勝点が必要だ。

前半23分にはPKから先制点を献上し、37分には退場者まで出すアクシデントで、東洋大に0-3の敗戦を喫してしまつた桐蔭大。

「数的不利の状態でも点を取れるチャンスはあった。正直、ゲームプランはめちゃくちやになつたが、引き分けや勝ちの可能性もあったのではないかと思わせてくれた」（八城修監督）

しかし、そこで決めきることができず、結果は無得点。とはいへ、修正すべきはやはり守備の部分だろう。

「我慢強さが足りない。個々の守備の部分で、簡単にPK献上や警告になつてしまう理由は対応のまづさにあると思う。そこを意識して改善したい」（八城監督）

インカレ出場権を獲得するためには、負けられない試合が続く。

出場停止：福島翔太郎、古澤慶太（桐蔭大）警告3回：阿部潤、宮内啓汰（以上日体大）、大泉和也、山根視来（以上桐蔭大）

前回の対戦：日体大0-1（シュート数9-6）桐蔭大

日体大	桐蔭大
2. 宮内	15. 阿部
4. 菊地	8. 山崎
10. 稲垣	18. 劍
21. 大野	33. 田内
9. 田中	5. 金子
11. 北脇	10. 坪井
30. 宇羽井	1. 島崎
35. 大野	3. 香西
6. 石井	9. 大泉
5. 中西	16. 長谷
24. 横野	7. 梅村

# 流通経済大学 vs 東洋大学

11月2日(土)  
11:30K.O.  
江戸陸

結果的には3-0で勝利を収めたが、途中、ピンチに陥り、失点してもおかしくない場面があつただけに、その部分は修正しなければいけないだろう。

ただ、調子は確実に上がつてきている。

「開幕戦以来の完封勝利はよかったです。結果が自信につながっていくので、完封は非常に収穫」（古川監督）

とはいへ、順位はまだ11位で、10位との差は4ポイントと、厳しい戦いがまだまだ続く。これを持続させることが重要だ。

前回の対戦：流経大1-0（シュート数10-10）東洋大

流経大	東洋大
37. 鈴木	33. 山岸
39. 塚川	11. 黒須
40. 川崎雄	7. 馬渡
1. 八巻	6. 石川
6. 富田	10. 桑田
18. 田上	13. 川森
10. 椎名	4. 郡司
5. 川崎裕	1. 浅沼
35. 佐々木	8. 年森
7. 中山	3. 鈴木
29. 仙頭	16. 筑井

# 早稲田大学 vs 明治大学

11月2日(土)  
13:50K.O.  
江戸陸

「お互いのチームの強い思いがぶつかり合う、熱いゲームだった」（早大・古賀聰監督）

前半

21分に先制点を奪われると、その後も思うようにリズムを取り戻せず、最後までゴールを奪うことができなかつた。とはいへ、

「日体大戦のゲームが悪いとは思わない。もう一度、自分たちのサッカーをするように準備すれば問題ない」（神川監督）

あとは、決定力の部分を上げていきたい。

出場停止：小出悠太（明大）警告3回：中田航平（早大）、和泉竜司（明大）

前回の対戦：早大2-1（シュート数8-8）明大

早 大	明 大
6. 三竿	8. 近藤洋
3. 金沢	25. 宮本
4. 中田	33. 斎部
21. 阿部	12. 室屋
18. 小松	14. 松藤
2. 奥山	6. 水野
10. 榎本	1. 三浦
8. 和泉	16. 差波
3. 山越	27. 石原
26. 西山	15. 高橋
7. 近藤貴	